

日本学術会議

若手アカデミー運営分科会(第25期・第6回)、

若手アカデミーイノベーションに向けた社会連携分科会(第25期・第6回)

議事要旨

日 時: 令和4年3月23日(水)8:00~10:00

会 場: 那須高原TOWAピュアコテージ及びオンライン会議システム併用

(栃木県那須郡那須町高久乙 3375)

出席者: 若手アカデミー: 岩崎、高瀬、川口、田中、石川、小野、上村、山川、木村、遠藤、南澤、高田、入江、藤岡、小森、遠野、安田、新福

株式会社 SUNDRED: 岡村 留目、三菱総研: 吉田

議事要旨

1. 株式会社 SUNDRED の留目真伸氏によるリビングラボの紹介

留目真信氏(株式会社 SUNDRED 代表取締役社長 パートナー)より、SUNDRED の事業活動、新産業共創プロセス、インタープレナー(越境人材)、及びナスコンバレーの活用が紹介され、参加者とともに意見交換がなされた。

2. 今後の分科会の活動について

イノベーションに向けた社会連携分科会では、分科会としての見解の案の文書のアウトラインについて提示、提案された。

3. 今後の若手アカデミーの活動について

9月の全体会議は那須で実施することが決定した。

4. その他

インタープレナーについての意見交換がなされた。

以上